

特定非営利活動法人 あおーら

2024年度事業報告（2024年4月1日～2025年3月31日）

1. 事業再編

利用者のニーズに合わせ「あおーら日高」就労移行支援事業所「あかつき」の定員を10名から6名に、就労継続支援事業所「すみれ」の定員を10名から14名に変更した。

「あおーら飯能」は市内2か所に事業所を構えていたが、生活訓練事業と就労移行支援事業の継続した支援を目的に飯能駅南口の新しい事業所に集約した。併せて、就労移行支援事業所「わかばの家」の定員を10名から7名に、生活訓練事業所「セラヴィ」の定員を10名から13名に変更した。

2. 次世代の育成

法人の次の時代を担う職員による自由な討論の場として、誰でも自由に参加できるNG会（New Generation 会）が本格的に機能し始めた。新しく入職した職員も加わり、法人行事のクリスマス会や「あおーら旅行」の企画運営を担った。更に、法人のあり方等についての率直な意見や提言を期待したい。

3. チーム支援の充実

利用者の高齢化や生活上の課題、生活の質の改善など、当事者の方が希望する生活に近づけるよう、法人内はもとより関係機関とも情報を共有してチームとしての支援を心掛けた。地域活動支援センター「希望」では、新しく多職種連携訪問型支援事業を受託した。

4. 地域移行の取り組み

障害者が地域社会の一員として安心して生活できる環境を整えていくため、当事者団体（みなくる倶楽部）、家族会（飯能日高精神障害者家族会）、行政、すこやか福祉相談センター、病院等の関係機関との連携強化に取り組んだ。

5. 「みなくる倶楽部」との協働

飯能市障害者支援協議会への参加、毎週土曜日のフリースペースの運営、市民・医療機関への啓発活動、ピアサポート勉強会、飯能市精神保健福祉フォーラムなどについて、当事者団体「みなくる倶楽部」と協働して取り組んだ。

6. 家族会との協働

毎週水曜日の家族相談会、ぽかぽかコンサートなどについて、飯能日高精神障害者家族会（みのり会）と連携して取り組んだ。